



名 称 / 馬場川高潮対策工事  
所在地 / 瀬 棚 町  
発注者 / 函館土木現業所  
建設年 / 1996年～2000年

### 土木遺産の概要

平成5年、北海道南西沖地震が起きて発生した津波は松山や後志の沿岸部を襲った。この時、津波は馬場川を溯り瀬棚町と漁港に大きな被害をもたらした。こうした災害が再び町や漁港を襲うことを防止する目的で防潮水門を建設することとなった。馬場川水門の計画津波高は7.4mで、水門の上屋外観は町を代表する観光名所の三本杉岩をモチーフとした3基の塔を、3.4m×14.1m×2のゲートで結ぶもので、色彩は晴天時、雲天時のいずれにも膨張色とならない、やや青みがかった濃灰色を採用した。工事は平成7年に調査が始まり、翌8・9年に駆体施工、翌10・11年にゲート製作、管理用橋梁、カーテンウォール設置、上屋建築、魚道工が作られ、翌12年に管理用システムの製作・据え付けが行われた。